

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニユース

No.1018
14.7.16

和歌山市は どんな市か 中核市比較で見ると...

生活ある住みよい和歌山市を「くらしの会」の「2014和歌山市市長選挙」くらし応援・福祉充実住みよい和歌

項目	指数	順位
平均年齢	46.4歳	5位(高川順)
年少人口比率(0~15才)	12.6%	33位(高川順)
高齢人口比率(65才)	25.4%	4位()
出生率(女性1人あたり)	1.31人	21位()
高齢者単身世帯数	18,834	10位()
地方税収額(1千円)	15.75円	15位()
事業所数	17,713	20位()
従業員数	171,944	20位()
製造品出荷額(億円)	13,392	9位()
小売業年間販売額(億円)	3,687	30位()
大型店舗数	57店	24位()
農業経営体数	2,529	22位()
完全失業率	6.6%	18位(高川順)
若者失業率	9.7%	15位()
病院診療所数(1万人あたり)	12.8	2位()
公共下水道普及率	35.4%	43位()
河川環境基準達成率	78%	38位()
国保料モデル世帯(4人・所得200万円)	436,820円	5位()
国保費用額(1人1年)	339,019円	16位()
心疾患死亡率	179.9%	5位()
生活保護率	22.3%	12位(高川順)
(1人1日あたり)二み排出量	1.173g	2位()
(100人あたり)図書館登録数	121.2冊	42位()
(1人あたり)公園面積	6.5㎡	34位()

編で、和歌山市政の現状と分析が書かれています。左表は、その資料編にある中核市43市の中で和歌山市がどの位置にあるのかを示しているものです。65歳以上の人口(4位)や高齢者単身世帯(10位)が多く平均年齢が高い(5位)、事業所数、従業員数

フリーの人々



<801>

「今夜はナニを食べよかな?」

「もっと食べるか?」

「ほれほれ、お魚のイサ →」

「二人分のか、あれはいいのに、ヒョのイサ」

とも中位(20位)だが、製造品出荷額(9位)は多い。1万人当たりの病院・診療所の数(2位)は多い。国保料金(5位)は高く、心疾患で亡くなる人が多い(5位)。図書館の本が少ないこともわかります。

人にちは 日本共産党の かとう直人 です。(その27)

車いす裁判不当判決

橋本市在住の上田新さんが補導具として電動車いすの支給を取り消されたことをめぐって橋本市を相手に起こした訴訟の判決が先日、和歌山地裁であった。結果は上田さんの支給してほしかった訴えは却下。電動車いすの操作能力に疑問がある人への支給取り消しは正当だとの判断である。

操作能力や安全度を支給の判断基準にするこの判決は前時代的だ。操作力も安全度も取り巻く環境でいかようにも変わる。上田さんの場合も電動車いすを操作する際は援助者が必須なのだ。総合支援法は尊厳ある生活のための給付を謳う。補導具を得ることでその人の自立を助け生きかたを作ることができるとかどうかが問われるのだ。操作力の如何に支給基準を求め、判断が重視されれば、今後各地の補導具申請が暴増することを心配する。原告の上田さんと弁護団は、控訴を念めながら闘っている。



かとう直人
(県議予定候補)

今年もウメ輪紋ウイルス

感染株 4本

7月9日(水)市・農林水産課からウメ輪紋ウイルスの感染株が新たに2本見つかったとの報告がありました。このウイルスは、桃・スモモなどに広く感染する植物ウイルスで、アブラムシにより媒介されるほか、穂木や苗を挿木して感染します。ウメでは葉に斑点や輪紋が生じますが、その果実は食べても何ら影響はないとのこと。1995年にブルガリアで発見。日本で初めて確認されたのは、和歌山県で昨年、東部地区のウメ園地で確認されました。

集団的自衛権行使は憲法違反

7月3日(日)日本共産党の政策委員会のみならず、茨城の宮山学校前、松源前、集団的自衛権行使の閣議決定を撤回せよとインドマイク宣伝を行いました。くもり空がだんだん晴れてきて暑いくらいになりました。

7月20日(金)東京都青梅市で初めて確認。和歌山県では昨年、東部地区のウメ園地で確認されました。

日本共産党

正規雇用拡大は急務
安倍首相は、自らの経済政策「アベノミクス」で雇用も賃金も改善したと宣伝していますが、(しかし)実態は、賃金の安いパートや派遣の労働者など非正規雇用が増えているばかりで、正社員など正規雇用の回復は遅れています。総務省の5月の労働力調査でも、非正規は1年前に比べ30万人増えています。正社員は1万人しか増えていません。非正規雇用で働く人たちは全体の4割近くです。

者など非正規雇用が増えているばかりで、正社員など正規雇用の回復は遅れています。総務省の5月の労働力調査でも、非正規は1年前に比べ30万人増えています。正社員は1万人しか増えていません。非正規雇用で働く人たちは全体の4割近くです。

安倍首相が雇用改善の証(こと)が急務です。

福島県伊達市霊山町山戸田の

酒井さん(二夫妻)(ヒトシせんが奥さん)から届きました。

やまとだ

通信

NO.20
2014年
7月

梅・タケノコ採りを

体験しました

阿武隈山地の中にある、葛尾村のみなさんは、原発事故で全国あちこちに避難しています。6月上旬、「元氣なかつらおプロジェクト」のみなさんが宿泊しました。会津や郡山、三春、埼玉など、各地から集まって懐かしそうに、ふるさと葛尾村のことを話していました。



たけのこ

助かったツバメの雛

聖日は小梅採り、タケノコ採り散歩、などのグループに分かれて「ふるさと体験スクール」の周りの自然を体験しました。「タケノコ採りなんて三年ぶりだ」「梅をとるのも久しぶりだ」と言ってみなさんに楽しんでもらいました。収穫物はみなさんに持ち帰っていただきました。「自分たちは戻りたいけど、子どもや孫は戻れるのかどうか分らないし心配だ」「村の将来を考えるとどうなるのか不安ばかり、でも、今元気に生きていない信じている」と元氣を振り絞っていました。

母屋にあったツバメの巣が留守の間へびに襲われてしまいました。それからツバメは母屋から「スクリュー」の玄関に引っ越して巣を作りました。一昨日の朝玄関の戸を開けたら大きなアオダイショウが上から下がついてびびり、へびを退治して雛は無事でした。

ヒトシ

ブログを始めて三年になりました。原発事故の実情を少しでも発信したいと言っ思い出した。はじめの頃はアクセスが月数回だけでした。でも6月には月間二万以上のアクセスになりました。

德行

田中・ブログは福島ふるさと体験スクールで検索ください